

事業所名	リトルジエム		公表日		2026年 3月 30日		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			・広すぎず狭すぎず適度な距離で聞かれる。 ・活動ごとに机などを移動し、活動しやすい環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		・急な休みや訪問支援でまれに職員が少ない時もあるが、ヘルプ要請をしたり、少ない中での子供たちのまとめ方の工夫が出来ている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			・子供たちの注意が散漫にならない工夫がされていると思う。 ・おもちゃや本棚に目隠しをしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1			・棚の上が荷物でいっぱいがあるので整理整頓を心掛けたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			・カムダウンルームやパーテーションで個別の空間を作ることが出来ている。	
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			・課題などが生じる度に話し合うことができている。 ・朝礼の際に、職員全員で児童への対応や最近の様子、業務内容などを振り返り、改善に繋げている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			・毎年、評価を実施し、いただいたご意見を踏まえ、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			・朝礼などで話したりしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	5	※外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			・研修の告知は随時行い、定期的に内外での研修に参加する機会を確保している。 ・支援プログラムは作成、公表している。	・リモート研修等、積極的に参加したいと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			・支援プログラムは作成、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			・すべての職員が子どもにとって何がいいのか考えてくれている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			・定期的な職員間で話してアセスメントを行い、園や保護者の方とも情報交換を行ったもどで、計画書を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			・個別支援計画は職員で共有し、それに基づいて支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			・TASPを使うことで、子ども一人一人の得手不得手が視覚的にも確認でき、とても良いと思います。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			・左記の項目は全て設定し、具体的な支援内容も設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			・アドバイスをもらったり話し合いながら決めることが出来ている。 ・工作は季節が意識できるものや、手先などの発達を促すものであり、仕上がりが可愛くなる物なので子供たちは喜んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			・子供たちの状況に応じて考えてあり、その子の好きなキャラクターで活動を作ったり、季節やイベントに合わせた活動を設定してあり子供たちはとても喜んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			・こども文化会館などへ行く機会や、外遊びの機会も設け、大集団の中で活動する機会も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・打ち合わせは朝礼で行い、始まりの会や活動の際の主担当も固定しないようにまんべんなく割り振り、連携して支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			・（他事業所を併用されている保護者の方々からの話によると）どの事業所よりもかなりきめ細やかな対応をされていると思う。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・他事業所と併用されている場合は、連携を図るよう努めている。移行に向けて、事前に園と情報共有と相互理解を図っている。	

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・就学移行支援シートを作成したり、小学校や放課後デイサービスの見学に同行したりしている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		・こども文化会館や公園で関わる機会がある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		・おしゃべり会の機会を設けている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7				
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				・個人のスマートフォンで写真を撮る時があるのが気になります(十分に注意はしていますが…) ・外遊びの際などは安全のためにマンツーマン体制になるため、指導員が各自で写真撮影をしているので、必ずその日のうちに画像の削除を行うことを徹底していきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	3	・毎年、地域のどなたかに参加させてもらっている。	・利用者の方の個人情報の観点からも、完全に地域に開かれた事業運営をするのは難しいと感じている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7				
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	3		・服薬、てんかんについては事前に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		・保護者の指示に従っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		・外遊びの際は戸外活動計画書を作成している。 ・軽自動車以外に車内置き去り防止の装置を取り付けている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			・緊急時のフローチャートなどをHUGで公開している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			・ファイリングし、いつでも閲覧可能な場所に保管してある。	・自分からあまり発信できていなかったのでしていきたいと思う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			・定期的な虐待について話し合いをするともに、研修を実施し、事業所内での情報共有を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			・契約時や初回支援計画書作成時、その後も必要に応じて説明を行い、保護者の了解を得て支援計画に記載している。		